

三郷市在宅医療・介護 多職種連携研修会

第2回 平成29年12月9日(土)
三郷市 埼玉県立大学

1

I. 開会に先立って

- 事務連絡、スケジュール
- 配布資料の確認
- 撮影のお願い

2

II. レクチャー

「第1回研修会を振り返って」

3

話の流れ

1. 三郷市の目指すもの

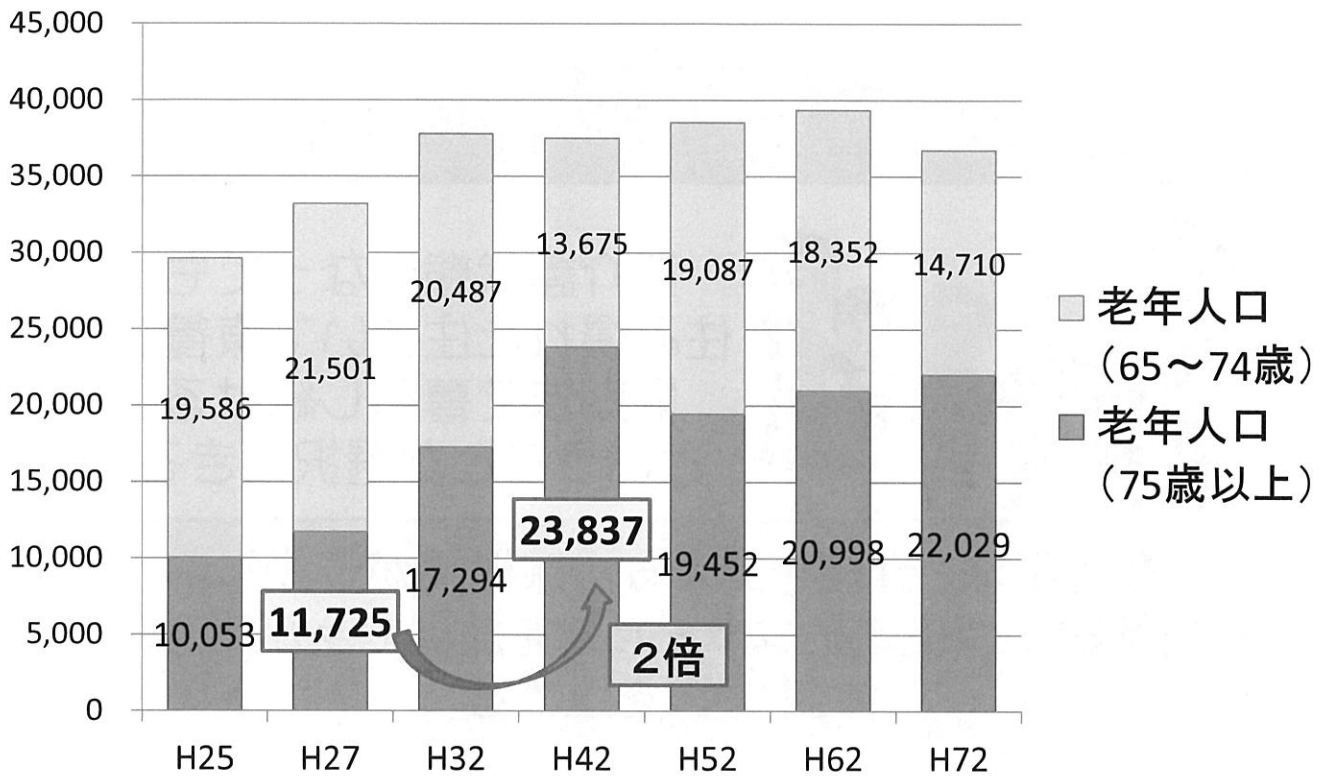
2. 三郷市の多職種連携上の課題等

3. 演習・行動計画・リフレクション

4. 第2回研修会の進め方

4

三郷市における高齢化



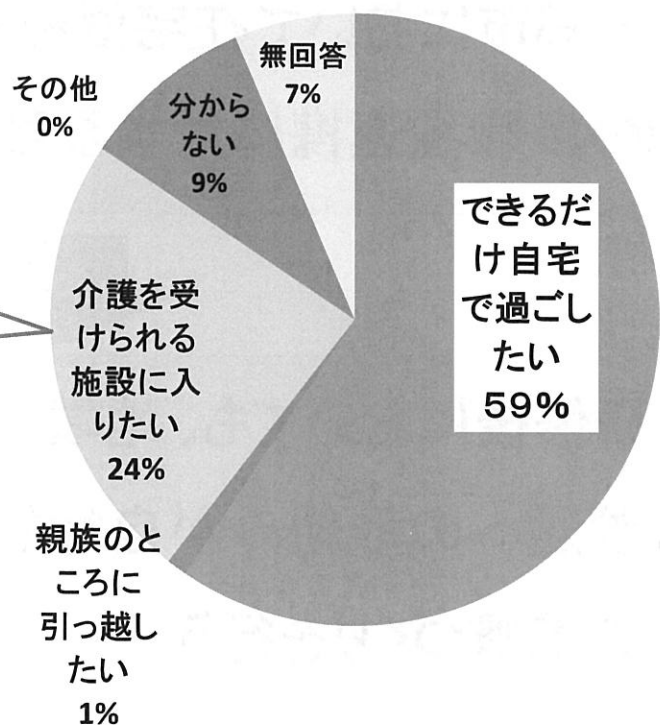
(平成27年度三郷市版人口ビジョン 総人口推計パターン②(三郷市独自推計①)より作成)

5

三郷市民が介護が必要になった時、過ごしたい場所

(問) あなた自身が、介護が必要となったとき、どこで生活していきたいと思いますか。

家で過ごしたい人が
全体の60%



調査対象:
 ①三郷市在住の一般高齢者(65歳以上)1,241名
 ②要支援認定者639名
 ①+②計1,880名
 回答数:①931票 ②483票

(三郷市第7期高齢者福祉計画 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

6

三郷市が目指す方向



要介護状態になっても
住み慣れた住まいで療養し
最期まで暮らし続ける
ということが選択できる

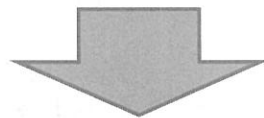
在宅医療と介護を支える関係機関が連携し、
包括的かつ継続的なサービスを提供できるような
体制づくりを進める



平成27年度から
医療・介護連携推進協議会を設置

研修会の目的

三郷市において在宅医療・介護に従事する専門
職の多職種連携に対する意識を改革。



研修後においても、地域における多職種連携上
の課題への取組みが自律的・継続的に行われるた
めの基盤づくりを行う。

話の流れ

1. 三郷市の目指すもの

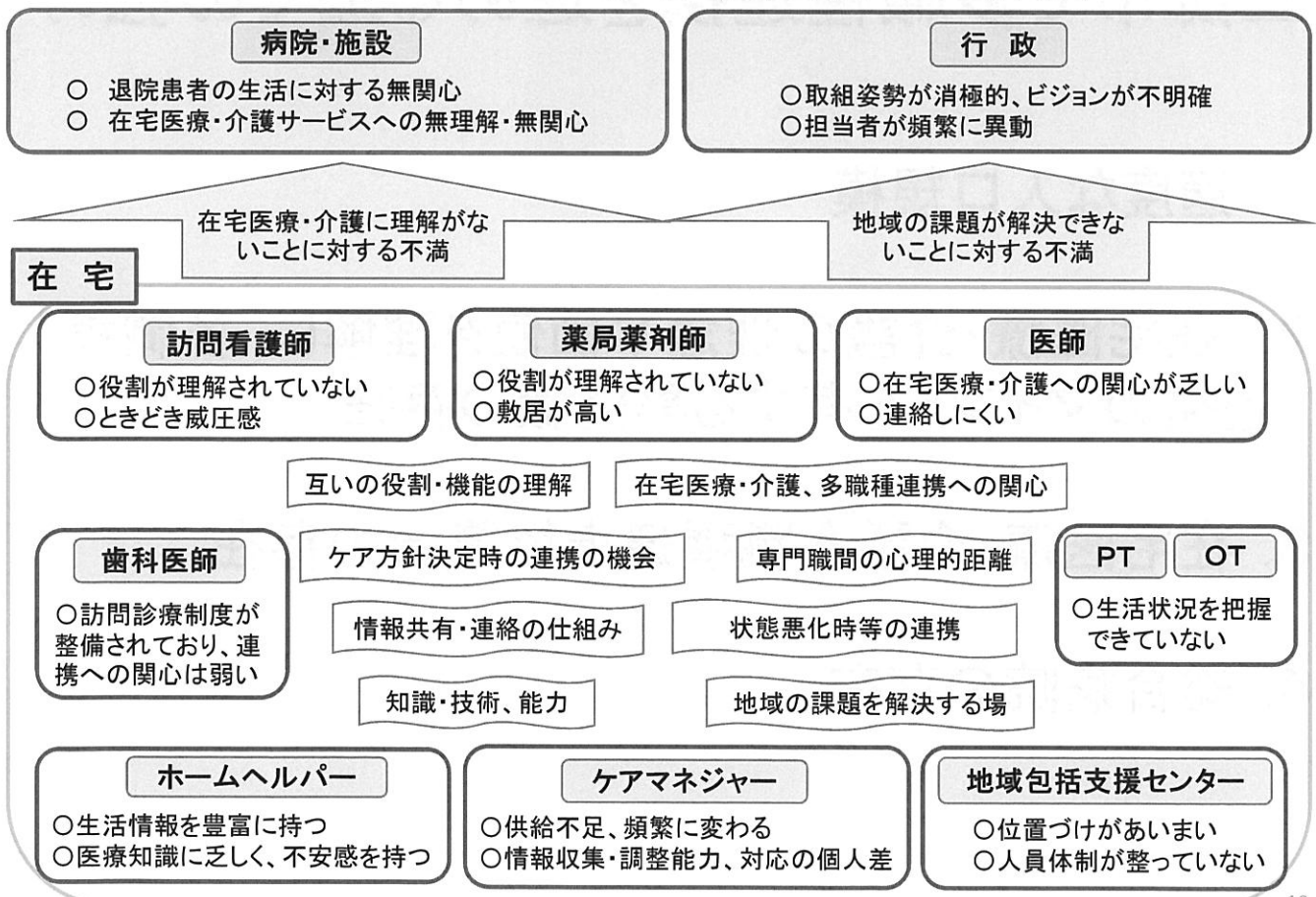
2. 三郷市の多職種連携上の課題等

3. 演習・行動計画・リフレクション

4. 第2回研修会の進め方

9

三郷市における多職種連携上の課題



10

三郷市における多職種連携上の課題

1. 情報共有、連絡の仕組み
2. ケアの方針決定に当たり多職種・多機関と連携する機会
3. 専門職間の心理的な距離
4. 専門職の役割・機能に対する相互理解
5. 各専門職の在宅医療・介護と多職種連携に必要な知識・技術と能力
6. 多職種連携による在宅医療・介護への関心
7. 病院専門職との連携
8. 状態悪化時等の連携
9. 地域の課題を解決する場
10. 行政の対応のあり方

11

三郷市で多職種連携を進める上での強み

1. 適度な人口規模
2. 在宅医療・介護の理念や価値を理解し、多職種連携のマインドを有する専門職の存在
3. 在宅医療・介護多職種連携協議会の存在
4. 総合病院の存在

12

連携に当たって必要な知識

1. コミュニケーション技術
2. 聴き方・話し方の技法
3. グループによる話し合いの技法
4. 多職種の相互理解を促進するツール

※ 国際生活機能分類(ICF)

13

話の流れ

1. 三郷市の目指すもの

2. 三郷市の多職種連携上の課題等

3. 演習・行動計画・リフレクション

4. 第2回研修会の進め方

14

演習

(目的)

課題解決のため、多職種でどのように連携すればよいかを考える。

1. グループワーク

(1) 自己紹介

(2) 事例を用いた検討

2. グループごとの発表

各専門職の役割・強み → 連携がうまくいくためのポイント

15

演習での発表 — 連携のあり方 —

各グループは、例えば、次のような点を発表。

- 意思決定には、多職種の視点が必要。
- 職種の専門性を活かし、タイムリーに情報を発信し、情報を集約することが必要。
- 課題に応じて、関係する職種も異なる。それぞれの専門職の役割を発揮することが重要。
- 他職種の役割や関わり方に対する認識が必要。
- 情報共有のためには、各専門職の顔の見える関係づくりが重要。

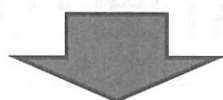
16

行動計画の作成

(目的)

研修会で学んだことを、多職種連携の実践に意識的に結びつける。

⇒ 自らの課題を整理し、第2回目の研修会までに実施する具体的な目標と計画を作成。



本日の研修で使用

17

多職種連携におけるリフレクション

(目的)

本日の研修における、自らの思考・行為・感情・価値観の変化を振り返り、学びを今後の実践に意図的に活かせるようにすること。

- ① 研修を通じ、感情や価値観がどのように変化したか
- ② なぜそのような変化が生じたと思うか
- ③ それを今後どのように活かすことができるか

18

話の流れ

1. 三郷市の目指すもの

2. 三郷市の多職種連携上の課題等

3. 演習・行動計画・リフレクション

4. 第2回研修会の進め方

19

第2回研修会の進め方

14:15－16:35

演習－実践報告

16:35－17:05

多職種連携におけるリフレクション

20

Ⅲ 演習

「行動計画の実践に基づいた グループワーク」

21

演習

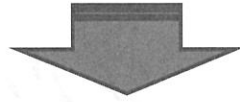
行動計画の実践に基づく議論

1. 個人ワーク
2. グループワーク
3. 発表

22

演習の目的

「課題解決のために多職種でどのように連携すればよいかを考える」



- 自己の実践から、多職種連携に必要な要素を見いだす
- 他の専門職から、多職種連携に必要な要素を見いだす

23

流れと方法

1. 実践報告

- (1) 個人ワーク
- (2) グループワーク
- (3) 学びの共有

付箋

付箋

どこでもシート

2. 発表（グループ毎）

3. まとめ

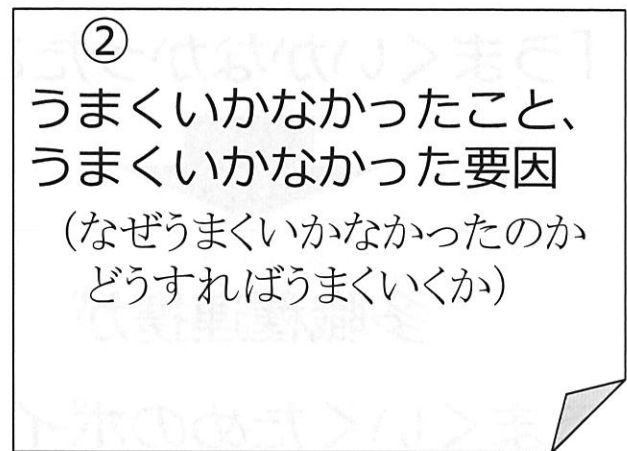
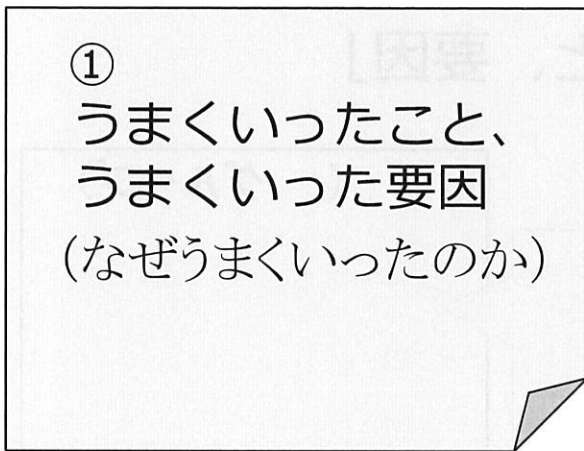
24

個人ワーク

15分

<実践報告の準備>

- ・ 「行動計画と結果」を簡潔にまとめる
- ・ ① ② → 付箋に書く



25

グループワーク

役割：司会・書記・発表・タイムキーパー

- ・ 1人2分ずつ付箋を出しながら報告

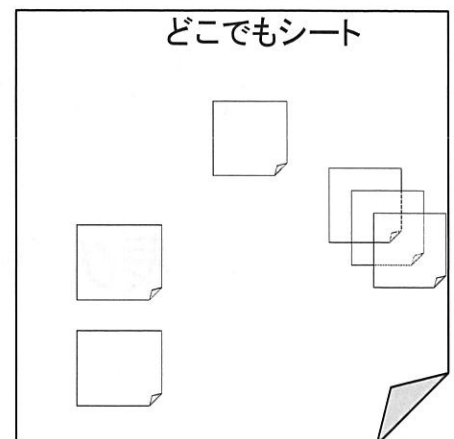
15分

「行動計画と結果」

「うまくいったこと・要因」

「うまくいかなかったこと・要因」

共有 → 議論
(相互理解)

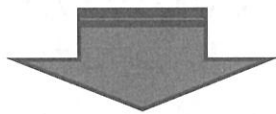


26

実践から

「うまくいったこと、要因」

「うまくいかなかったこと、要因」



多職種連携が
うまくいくためのポイント

(グループ)

～ 休憩 ～

「どこでもシート」を
ホワイトボードや壁に貼って
発表の準備をお願いします。

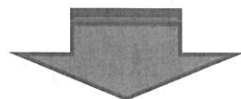
(グループ)

多職種連携がうまくいくためのポイント

29

まとめ

- 自己の実践から、多職種連携に必要な要素を見いだす
- 他の専門職から、多職種連携に必要な要素を見いだす



実践の場で多職種連携がうまくいくためのポイント

IV. リフレクション

「多職種連携における リフレクション」

31

多職種連携におけるリフレクション

これから、本日の研修（第1回の研修をふまえた講義やグループワーク）について「リフレクション」を行います。

（リフレクションの目的）

本日の研修における、自らの思考・行為・感情・価値観の変化を振り返り、学びを今後の実践に意図的に活かせるようにすること。

32

リフレクションの進め方

1. 自己への気づき

研修を通じ、多職種連携上の疑問の存在、その疑問を持っている自分自身に、新たに気がつく。

2. 「自己への気づき」を可視化する

自己への気づきを広げ、深めていくためには、それを他者に伝達することが不可欠。

具体的に話す、書くなどにより、自己への気づきを自ら明確に認識することが必要。

このため、疑問や違和感を率直に話せるよう記述。

33

3. 研修の成果を評価する

研修を通じ、自分がどのように考え、それを他者にどのように伝えたのか、自ら評価。

4. その評価を吟味する

グループメンバーとの対話を通じ、自らの評価について批判的に吟味。

5. 疑問の解決に向けて、まとめる

研修全体を踏まえ、今後の実践にとって何が重要なのか確認。

34

個人のリフレクション

まず、個々人で、リフレクションを行います。

それぞれ本日の研修の成果を振り返り、記述しましょう。（10分）

● ①～③について、それぞれ付箋に書く。

- ① 研修を通じ、感情や価値観がどのように変化したか
- ② なぜそのような変化が生じたと思うか
- ③ それを今後どのように活かすことができるか

35

グループでのリフレクション

「個人のリフレクション」の内容をグループ内で共有し、話し合しましょう。（15分）

- (1) まず、付箋に記載した内容をグループ内で発表してください。（各1分）
- (2) 時間の許す限り、質問したり、意見を言ったりして、内容を深めましょう。

36

グループでのリフレクション

- (3) 明日から自分の職場で多職種連携を実践していく上で、どのような姿勢で臨んでいきたいか、それぞれ決意表明(30字程度)を記入してください。
- (4) グループメンバーに対し決意を表明して下さい。

【私の決意】

37

38

V. 閉会

1. 三郷市 挨拶
2. 埼玉県立大学 挨拶

39

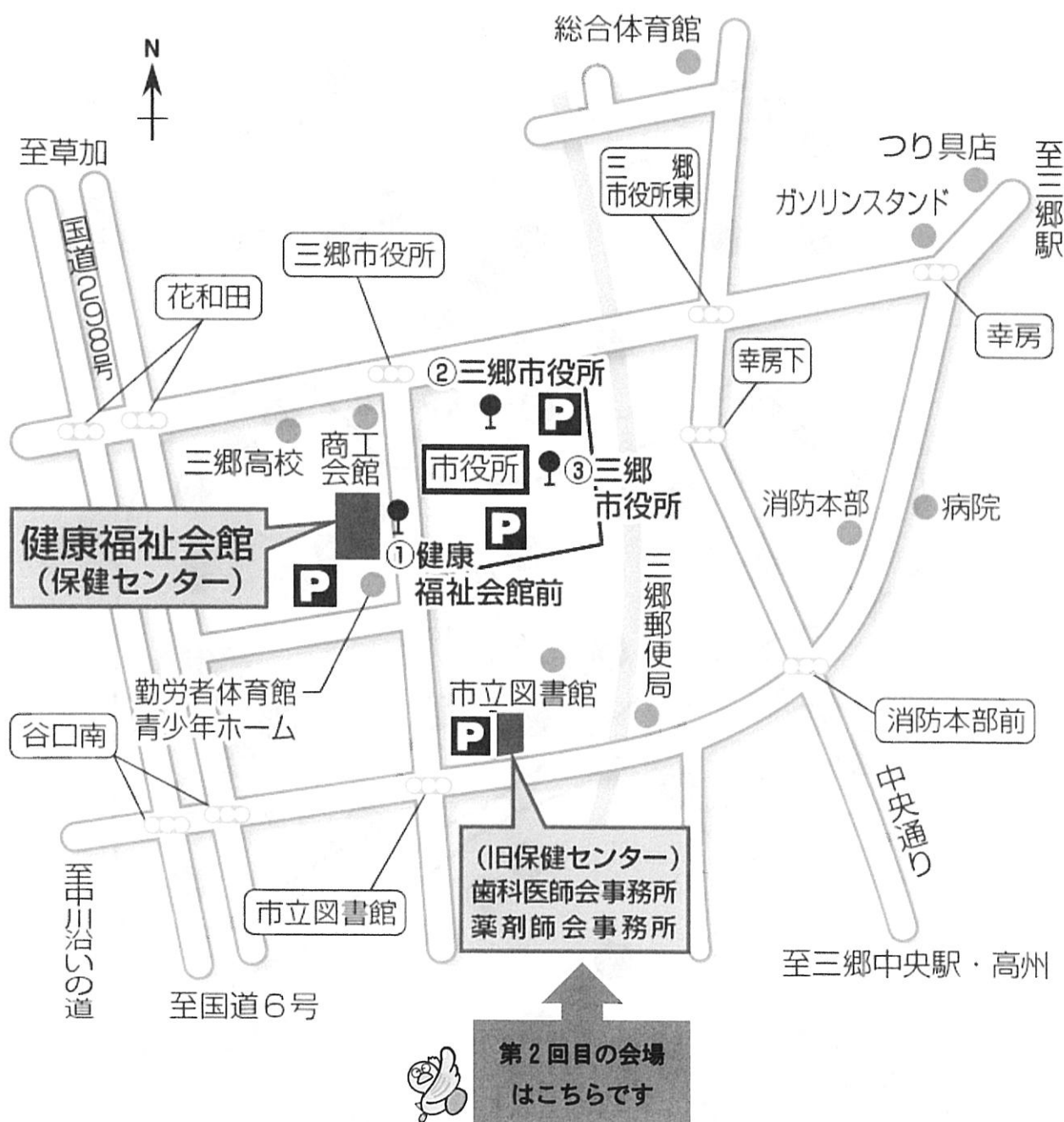
VI. 連絡事項

- アンケート調査
- 事務連絡

40

会場案内図

第2回 研修会 旧保健センター2階



<在宅医療・介護多職種連携研修会 会場レイアウト 2日目>
旧保健センター 大会議室

受付

出入口

スクリーン

講師

PC

司会

講師

講師

講師

